

自然災害、天候不順対策でBCP達成へ全力

も不可欠だ。

こと京都／タキイ種苗

農業分野で自然災害や天候不順への対応が強まっている。九条ネギの生産・加工・販売を行う農業生産法人こと京都は、8～10月を「台風対策期間」と定め、全社一丸となり台風に備えた対策に乗り出した。オリジナルロゴ「NEVER GIVE UP!」のコンセプトを社内設置し、BCP（事業継承計画）の達成に全力を

挙げる。一方で、種苗の生産・加工・販売を行う農業生産法人こと京都は、8～10月を「台風対策期間」と定め、全社一丸となり台風に備えた対策に乗り出した。オリジナルロゴ「NEVER GIVE UP!」のコンセプトを社内設置し、BCP（事業継承計画）の達成に全力を

最大手のタキイ種苗は、今年夏、暑さに強い品種を相次ぎ発売。ダイコンの「夏あおい」とニンジンの「京くれない」の刈り込みなどを実践。工場部門では、保管冷蔵庫の容量確保、営業部門では出荷予測や顧客への連絡などを徹底させる。

背景に、18、19年と連続して台風による大規模被害を受け、一晩で約200tものネギが倒伏し、45日間に取り出荷を休止。創業後初めての大規模な生産停止となり、工場も1ヵ月間休業するなど経営面で甚大な影響が出た苦い経験があり、「自然災害は人の手で

防ぐことが、全社一丸となった対策で、影響

を最小限にとどめることができない」（山田敏之こと京都社長）という信念がある。

タキイ種苗が開発した「なつばな」は、栽培技術の向上や品種改良によって周年栽培が増えた小カブに猛暑や長雨、集中豪雨による過湿環境などの品質劣化問題を考慮。しかも軟らかく、生食に向くなど消費ニーズにも合致している。

そのほか「京くれないEX」は、リコピンとカロテンの2種類のカロテノイドを含む人気品種を、高温期の初期育成が向上するよう改良したものの、「夏あおい」は、高温下で問題となる、黒芯・赤芯病などの生理障害に強い上、草丈が短く収穫作業がしやすく、葉軸が折れにくく機械作業に向くなど生産性にも配慮した、プラス価値

国産野菜は、コロナ禍で家庭用中心に需要が高まっており、こと京都・山田社長は「飲食店向けは苦戦するものの、家庭用のカットネギがけん引し、今期（12月期決算）は前年比1割増。中でも冷凍野菜で国産志向が高まり、この商品群は同2割増」と胸を張る。こうしたビジネスチャンスを生かすためにも、頻発する自然災害や異常気象への対策は不可欠となっている。

（佐藤路登世）

「自然災害は人の手で防ぐことが、全社一丸となった対策で、影響

を最小限にとどめることができない」（山田敏之こと京都社長）という信念がある。

タキイ種苗が開発した「なつばな」は、栽培技術の向上や品種改良によって周年栽培が増えた小カブに猛暑や長雨、集中豪雨による過湿環境などの品質劣化問題を考慮。しかも軟らかく、生食に向くなど消費ニーズにも合致している。

そのほか「京くれないEX」は、リコピンとカロテンの2種類のカロテノイドを含む人気品種を、高温期の初期育成が向上するよう改良したものの、「夏あおい」は、高温下で問題となる、黒芯・赤芯病などの生理障害に強い上、草丈が短く収穫作業がしやすく、葉軸が折れにくく機械作業に向くなど生産性にも配慮した、プラス価値

NEVER GIVE UP! 台風に負けない、諦めない。

ネギを守る 顧客を守る 生活を守る

こと京都では社内の至る所に設置し、モチベーション向上につなげる「NEVER GIVE UP!」のステッカー

（佐藤路登世）